



最後の頁を閉じた
違う私があった



2021・第75回 読書週間
10/27 ~ 11/9

わたしの“押し”本

書名 越前の諸道

著者名 司馬遼太郎

出版社 朝日新聞社

ご感想、おすすめポイントなどご自由にお書きください。

歴史小説家・司馬遼太郎の人気紀行シリーズの1冊。

今から約40年前の1980年秋、開通間もない湖西線を走る「雷鳥」の食堂車で、
司馬氏がサンドイッチをほおぼるシーンから、旅は始まります。

平泉寺、丸岡城、三国、今立、陶芸村…。継体天皇、道元、朝倉氏、北前船、松平春嶽…。
東西南北、古代から近現代まで、縦横無尽の旅のなかで、司馬氏独特の視点と解釈でもっ
て、鮮やかに越前史を切り取っていきます。

ところどころ点描される、昭和後半の福井の風景や事物も楽しむことのできる1冊です。

